

## 図書館長と学生利用者との懇談会報告書

日 時 平成21年12月2日(水)

開 会 午後4時15分

閉 会 午後6時15分

場 所 総合研究棟3階 リフレッシュルーム

出席者	図書館長		青木 清
	機械システム工学科	4年	橋本 佳宏
	土木開発工学専攻	1年	佐々木 健悟
	電気電子工学科	4年	沖松 一弥
	情報システム工学専攻	1年	崎浦 裕
	化学システム工学科	3年	田頭 和真
	機能材料工学専攻	2年	藤井 嵩士
	バイオ環境化学科	2年	佐藤 こずえ

懇談会に先立ち、図書館長から本日の懇談会の主旨説明及び挨拶があった。引き続き、学生出席者から図書館の利用状況等を含めて自己紹介を願った。



# テーマ1 「学生図書リクエストの利用について」

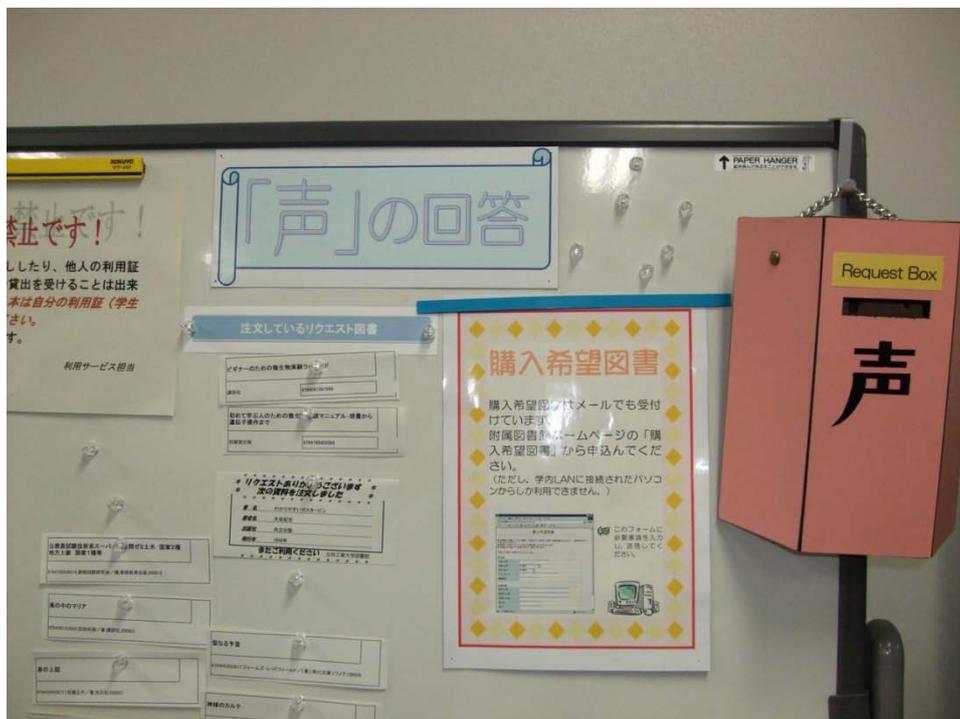
(図書館長) 図書館で行っている学生図書リクエストについて、制度を知っているか、制度が分かったら利用したいか、制度の利用者が限られているなどの問題について、ご意見を頂きたい。

(学生G) 制度は知っているが、利用したことはない。

(学生E) 以前に一度利用したが、迅速に処理していただき、リクエストをすると最初に借りられる権利があり、また貸出が可能になったとの連絡も頂けたので良い制度だと思う。ただし、利用が少ないと言っているのに10冊の制限が設けられているのは矛盾があるのでは？

(事務局) 10冊の制限がないと特定の人が予算を使い切ってしまうことが起こりえる。多くの皆さんに利用して頂くために冊数の制限を設けている。

(図書館長) 利用した方には概ね好評であるシステムだが、利用者が少ないのはやはり周知方法に問題があり、工夫が必要である。新入生のオリエンテーション時の説明に学生図書リクエストについて項目として加えたい。



## テーマ2 「図書館の利用マナーについて」

(図書館長) 図書館内での私話や利用態度などのマナーについてご意見を頂きたい。

(学生A) 利用マナーについて図書館サイドは現状をどのように思っているのか伺いたい。

(図書館長) 良い部分とそうではない部分があるが、概ね図書館利用のマナーは良いと思う。今後とも、節度を保った利用をお願いしたい。

(事務局) プレゼンテーションやグループ討議などの学習スタイルの変化により、図書館にも対応する施設が必要である。そこで、1階閲覧室をグループ学習対応エリア、2階閲覧室をサイレントエリアとして住み分けを行い、様々な学生のニーズに対応したいと考えている。図書館の利用者のマナーが悪いとは考えていない。

(学生E) グループ学習対応エリアとサイレントエリアの住み分けについては、始まったばかりなので学生の反応なども少ないと思うが、個人的にはすごく良いと思う。以前から少し図書館内がうるさいと感じることがあったので、この住み分けによって良くなれば良いと思う。

(学生G) 本来図書館とは静かに勉強をするところというイメージだったので、図書館にグループ学習対応エリアが出来たのは驚いたが、現状を考えると利用者にあった発想だと思う。また、館内だけではなく、話しながら勉強する学生が多いのでコミュニケーションホールにもっと席を増やしてほしい。それにより、話したい人はコミュニケーションホールに行くようになるので、館内の静かさはより保たれるのでは。

(図書館長) 学生Gからコミュニケーションホールに席を増やしてほしいという意見が出たが、これは図書館としても是非伺いたい話題である。このことについて他の方からも意見願いたい。

(学生C) 飲食可能なコミュニケーションホールに席が多くあると良いので、席は増やしてほしい。

(学生A) 学内に談話スペースは必要であるので賛成。

(学生B) 悪くはないと思うが、そもそも談話出来るスペースなどは必要ないので？ちょっと甘い気がする。

(図書館長) 図書館として、学生の要望を踏まえてコミュニケーションホールについては、動線を考慮しつつ、席を増やす方向で検討したい。

また、全体として、図書館の利用については良いと思う。グループ学習エリアやサイレントエリア・サイレントルームなどそれぞれの場所でどういう利用が出来るのか(静かさなど)分かるような表示などを工夫してほしい。今後、新入生オリエンテーションなどでも案内するようにして頂きたい。



(学生F) 学部生の時に図書館のパソコンを使ってレポートを書いていたが、パソコンがなかなか空かなかったり、プリンタの紙が無かったりということがあったが、今はどうか？

(事務局) 確かに、現在も利用はかなりある。プリンタの紙については昨年から各自で用意して頂いている。確かにプリンタについては足りないと思う。時折、誤って他の利用者の紙を使用してしまう学生がいるが大きな混乱にはなっていない。

(学生F) 以前はレポートを書こうと思ったら、ネットで遊んでいるような人がいたりしたので、そのあたりのマナーも徹底して頂きたい。

(図書館長) 学生はみなパソコンを持っているが、プリンタをあまり持っていないので、図書館でのプリンタの利用が多い。それに対して、プリンタの台数が少ないというご意見でよいのか？

(学生F) 学生の持ち込みPCからプリンタに繋げるようにするなど、もっと工夫が出来ないか？

(学生G) レポートを書くときにやはりパソコンが少ない。デスクトップのパソコンは増えないのか？

(事務局) 無線LANの利用など技術的には可能だが、プリンタの用紙を各自で持ってきてもらっているなど、運用の面から考えると今の段階ではちょっと難しい。USBなどで利用して頂いている。ただし、今年度中にはデスクトップパソコンの更新及び貸出用ノートパソコンとプリンタの増設を予定している。デスクトップの増設は1台のみだが、ノートパソコンは4台増設される。また、グループ学習エリアにも電源が整備されるので、レポートを書くときには貸出用のノートパソコンを利用して頂きたい。貸出用ノートパソコンの利用率があまり高くないので、こちらとしても掲示や案内など工夫して利用率を高めたい。

(図書館長) プリンタの利用希望が多いのであれば、1台は印刷専用若しくは印刷優先のパソコンを設置するというのはどうか？

(学生D) プリンタの台数が増えるならば、是非印刷専用のパソコンを設けて貰いたい。その際には、古いOFFICEにも対応できるようにしてほしい。

(図書館長) パソコンというよりも、プリンタに学生の需要が高いようなので、可能ならば印刷専用のパソコンを設置するのはどうか。予算やスペースの問題があるが、出来るだけ対応していくという方向で行きたい。

(学生E) プリンタを利用するのはレポートの印刷だけではなく、WEB上の情報なども印刷したい場合があるので、印刷専用のパソコンを作る際には、現在デスクトップに繋がっているプリンタの台数を最低確保して頂きたい。

(学生G) 今回更新された後の古いパソコンを印刷専用パソコンとして活用し、単純に台数を増やすという形には出来ないか。

(事務局) スペース・予算の問題もあるので、どこまでが可能かはすぐにはお答えできない。スペースの問題については、今の閲覧席を多少占有する形にすれば、可能だとは思われる。

(図書館長) 閲覧席が少なくなっても、学生がプリンタを望んでいるのであれば、理解されるのではないか。

(学生G) スペースに関して言えば、グループ学習エリアが出来て、コミュニケーションホールにも席が増えれば問題にならないのではないかな。

(図書館長) 再度確認になるが、学生からの要望として、パソコンとプリンタの台数をより増やして頂きたいということで、図書館としてもより一層の努力をするということによろしいか。

(学生E) 貸出用のノートパソコンが利用されないのはプリンタに繋がっていないからではないのか。それであれば、ノートパソコンを増やすのではなく、デスクトップのパソコンを増やすほうが良いのではないかな？

(学生B) 利用状況から言うと、ノートパソコンよりデスクトップのパソコンを増やすほうが良いと思う。

(学生C) コール教室や情報処理センターでも印刷は出来る。

(学生E) コール教室のパソコン・プリンタは使い方が良く分からない。

(図書館長) 他の教室などはともかく、図書館に足を運んで頂くということは望ましいことである。図書館としてはこのような学生の要望に対し、努力をしていく。なるべく実現の方向で行きたい。



### テーマ3 「視聴覚コーナーの利用について」

(図書館長) 図書館では視聴覚コーナーの利用が少ないと考えている。どのような資料があれば利用したいかご意見を頂きたい。

(学生B) 英語の自習用DVDなどがあればよいと思うので、是非入れて頂きたい。

(図書館長) 視聴覚室のハードウェアや資料は古そうだが、利用状況はどうか？

(事務局) VHSやベータのビデオもあり古いものもあるが、DVDも少しずつ購入している。著作権処理をしているソフトは貸出も行っているので、館外貸出が主となっている。

(学生B) 英語だけではなく、物理や数学などもサテライトのように授業を見ることが出来れば、基礎学力の足りない新入生向けに役立つのではないか。

(学生A) 高校の授業で受けるような内容のものであれば、復習の意味で利用人もいるかもしれないし、面白いかもしれない。

(図書館長) 視聴覚コーナーもうまく運用できれば図書館にとっても有効なツールになる。語学の勉強や基礎の自習・復習のためには有効であると思うし、そういった建設的な意見が学生から出ることはとても良いと思う。

(学生F) 各学科で行われている卒業論文や修士論文の発表ビデオなどを資料としておけないか？

(図書館長) 著作権や特許関係の問題もあり、どこまで出来るかは分からないが、学内の動きなどが分かるような資料については、可能な限り収集したい。



## テーマ4 「図書館WEBサービスについて」

(図書館長) 今、WEBでは何が出来るか。

(事務局) 最初に窓口での申請が必要だが、それさえ済ませれば、蔵書検索の画面から、文献複写の申込、相互貸借の申込、貸出中資料の予約、図書のリクエスト、貸出状況の確認等が行える。

(学生E) すでに利用しているが、とても便利だと思うのでもっと普及したら良いと思う。周知がされていない。

(図書館長) 周知の方法として口コミは重要。良い事であれば是非他の方にも宣伝してほしい。逆に悪いところがあればどんどん図書館に言って頂きたい。

The screenshot shows the library's user interface. At the top, it says '北見工業大学図書館' (Beimi University of Technology Library) and '祝原 茂寿さんのマイライブラリ' (Moshige Shigeo's My Library). Below this are navigation buttons: 'ログアウト', '画面の更新', 'パスワード変更', 'すべて閉じる', 'すべて開く', 'Language', and 'ヘルプ'. The main content is divided into two sections: '個人状況' (Personal Status) and '図書館利用状況' (Library Usage Status). The '個人状況' section lists fields for '登録名', '利用者ID', '所属館', '所属部署', '予算部署', '利用者区分', '氏名', 'ヨミ', 'eメールアドレス', '有効期限日', '紛失回数', '発行回数', '通知', '連絡先', '郵便番号1', and '住所1'. The '図書館利用状況' section shows various usage metrics: '貸出0冊' (Loans: 0 volumes), '予約0冊' (Reservations: 0 volumes), '購入依頼0冊' (Purchase requests: 0 volumes), '相互貸借0冊' (Mutual lending: 0 volumes), and '複写依頼0冊' (Copying requests: 0 volumes). Each metric has a small icon to its right. At the bottom, there is a '蔵書検索' (Book Search) section with a text input field for 'キーワード:' and a '自館蔵書検索' button.



## テーマ5 「貸出条件等について」

(図書館長) 貸出条件等について、ご意見を頂きたい。

(学生E) 期間については延長貸出も出来るので20日で十分であるが、冊数は10冊では足りない。学生全員がそう思っている訳では無いと思うので、希望者のみでも貸出冊数を増やすことは出来ないか？15冊位借りられると有難い。

(学生D) 延滞がないとか、ある一定の条件を付けて貸出冊数を増やすような運用が必要では？

(図書館長) 確かにそういった優良利用者のみへのサービスにしなければ、他の利用者への迷惑が生じる場合もあるので、そのあたりも踏まえて事務サイドで検討したい。

(学生E) 罰則については、あって良い。開館時間について、22時までの延長開館になったのはありがたいが、もっと遅くまで図書館を開放してもらいたい。

(図書館長) アンケートなどでも24時間開館の要望も少しはある。しかし、どのくらいの利用があるか、また開館することによって生じる光熱水料・人件費などを考えると、現在の22時までの開館は、かなり学生の要望を考慮した形になっていると考えている。

(学生E) 図書館全体ではなく、コミュニケーションホールだけでも開放して頂けないか？

(図書館長) セキュリティの問題もあり、現在のままでは開放するわけにはいかない。ただし、学生からそのような要望があったことは記して、今後検討したい。

(学生G) 土日祝日の開館についても平日並みに22時までの開館としてほしい。平日は、24時までの開館としてほしい。

(図書館長) 先程の件と同様、要望があったことは記して、今後検討したい。

図書館としては、大学の光熱水料を節約することも考えていかなければいけない。館内やコミュニケーションホールでも不用な照明は消すなどの省エネ対策を行っている。

(学生G) 今までの討議から図書館全体の開館延長が無理ということであれば、1階のみとか制限を付けた上での部分開館でも良いので是非検討してほしい。

(図書館長) その意見も含めて、記録し検討する。

(学生B) コミュニケーションホール側の入口扉は開放しないのか？

(図書館長) 今回の改修はフュージョンセンターという位置づけだったため、市民・社会との融合の意味合いから一般の方が入りやすい位置を意識した入口になっている。入口が2つになるのは、図書館のセキュリティ上難しい。

(学生D) 折角、良い施設やシステムがあるのですから、新入生に対してももっとアピールをして頂きたい。利用案内などは手に取れるような場所に置くとよい。

(図書館長) 図書館の入口に利用案内を掲示する。また、学内に利用案内を置く。全体を通して活発なご意見を頂いた。事務サイドとも協議の上、本日出された要望については可能な限り実現したい。ただし、開館時間の延長についてはすぐには実現が難しいことをご理解いただきたい。

